

令和6年度事業計画書案
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人石見銀山資料館

1 事業実施の方針

令和6年度は法人本部に新たに職員を採用し、2年後の開館50周年と3年後の世界遺産登録20周年の節目に向けた助走の年としたい。

資料館の公益事業としては、京都の錦織作家龍村周氏とのご縁から特別展「錦織の美—織物美術家龍村光峯と錦織作家龍村周の織の世界—」展（会期6月30日—7月28日）を開催する。また、昨年度資料館内にVirtualion株式会社の支社が置かれたことから同社と連携協定を締結し、本年度からバーチャルミュージアムの制作に向けて本格的に活動を開始する。入館者が伸び悩む中、新たな魅力発信の場として大いに活用していきたい。このほか教育普及活動では例年と同様、大学生を対象としたインターンシップの受け入れ、地元の小中学生を対象とした石見銀山学習など支援・協力も積極的に行っていく。

次に指定管理業務は本年度が4年目となる。大田市に提出した年間計画に基づき指定管理者として責任ある態度で業務に臨みたい。とりわけ、自主事業に関してはコロナ禍によって感染対策上控えざるを得なかった事業もあったが、今後は状況を見ながら飲食などについても徐々に取り組んでいきたい。なお、JR西日本のトワイライトエクスプレス「瑞風」の運行が本年10月から始まり、重要文化財熊谷家住宅が立ち寄り施設となることから同施設のブランド化につながるよう努めていく。あわせてインバウンドについても地元の観光協会やエージェントと協力し、魅力的な商品造成を行いその需要を取り込めるよう努力する。

最後に収益事業については、新たな取り組みとしてオリジナルグッズを制作し、インターネットなどを通して販売を行う。加えて、NFT（非代替性トークン）などを利用したデジタルデータの活用と収益化、さらには関係人口の拡大を図るなど、デジタル社会に対応した取り組みを進めていきたい。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の 日時、場所、	受益対象者の範囲 及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
石見銀山資料館の 管理運営事業	入館券の販売、展示解説、石見銀山遺跡のガイドダンス	通年 石見銀山資料館	一般 児童・生徒	5,846
大森の町並み関連 施設指定管理事業	熊谷家住宅・旧河島家・宗岡家の管理運営	通年 熊谷家、旧河島家 宗岡家	一般 児童・生徒	24,186
書籍・物品等の販売 事業	書籍・ミュージアムグッズ・土産等の販売	石見銀山資料館 通年	一般 児童・生徒	3,009
その他法人の目的 の達成に必要と認められる事業	体験事業、受託事業	石見銀山資料館 通年	一般 児童・生徒	1,600